※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3005

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Aa	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	最新　数学A　改訂版（数研出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業用のノートを用意すること。ただ単に板書事項を写すだけでなく、問題を解いたとき、途中経過もできるだけ書くようにすること。
・答え合わせの際は、正しい答えを書くだけでなく、自分がどこでつまずいたかを分析すること。
・授業中、わからないことがあればその都度、教員に積極的に聞くようにすること。
・定期考査前は対策プリントを渡すので繰り返し練習をすること。

2　学習の到達目標

・場合の数と確率、図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。
・数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を養う
・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間考査まで	場合の数	・集合 ・集合の要素の個数 ・樹形図、和の法則、積の法則 ・順列 ・円順列と重複順列 ・組合せ	a：共通部分，和集合，空集合，全体集合，補集合など集合に関する用語を理解し，それらを求めることができる。集合の要素の個数を，数え上げることで求めることができる。樹形図を用いたり順序だてて並べたりすることで，場合の数をもれなく重複なく数えることができる。順列の意味を理解し，公式を利用することができる。組合せの意味を理解し，公式を利用することができる。 b：条件を満たすものを集合の要素として考え，表すことができる。ベン図を利用して集合を図示することで，補集合や和集合の要素の個数を考察することができる。既知の順列や積の法則をもとにして，円順列，重複順列を考察することができる。組合せの総数と順列の総数の関係を理解し，順列の総数をもとにして，組合せの総数を考察することができる。 c：集合の考えについて興味をもち，いろいろな集合を表そうする。ベン図や公式を利用することで，集合の要素の個数を数学的に数えようとする。順列，円順列，重複順列の違いを見い出そうとしている。順列と組合せの違いや，様々な場合の数を求めるのに，組合せの考え方が使えることに興味・関心をもつ。	練習プリント 小テスト 定期考査	練習プリント 小テスト 定期考査	授業プリント 練習プリント 授業態度
	確率	・確率の意味 ・確率の計算 ・確率の基本性質 ・事象と確率 ・独立な試行の確立 ・反復試行の確立 ・条件つき確率	a：確率の定義を理解し，簡単な確率を求めることができる。表や組合せの考えを活用して，確率を求めることができる。余事象の意味を理解し，確率を求めることができる。独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。	練習プリント 小テスト 定期考査	練習プリント 小テスト 定期考査	授業プリント 練習プリント 授業態度

※令和４年度以降入学生用

		・期待値	反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。条件つき確率の定義を理解し，確率を求めることができる。期待値について理解し，いろいろな場合の期待値を求めることができる。 b: ものごとの起こりやすさを，同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。独立な試行の確率を，具体的な例から直観的に考えることができる。期待値を，確率の考えに基づいて考察することができる。 c: ものごとの起こりやすさを，数値を使って計算で求めようとする。これまでに学んだ確率の性質を利用して，いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。独立な試行の確率や反復試行の確率について，興味をもって求めようとする。条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち，活用しようとする。賞金や得点などの期待を，客観的な数値で表すことに興味をもち，期待値を求め，考察しようとする。			
前期期末考査まで	確率	・確率の意味 ・確率の計算 ・確率の基本性質 ・事象と確率 ・独立な試行の確立 ・反復試行の確立 ・条件つき確率 ・期待値	a: 確率の定義を理解し，簡単な確率を求めることができる。表や組合せの考えを活用して，確率を求めることができる。余事象の意味を理解し，確率を求めることができる。独立な試行の確率を，公式を用いて求めることができる。反復試行の確率を，公式を用いて求めることができる。条件つき確率の定義を理解し，確率を求めることができる。期待値について理解し，いろいろな場合の期待値を求めることができる。 b: ものごとの起こりやすさを，同様に確からしいという概念をもとに数量的に考察することができる。独立な試行の確率を，具	練習プリント 小テスト 定期考査	練習プリント 小テスト 定期考査	授業プリント 練習プリント 授業態度

※令和４年度以降入学生用

			体的な例から直観的に考えることができる。期待値を，確率の考えに基づいて考察することができる。 c：ものごとの起こりやすさを，数値を使って計算で求めようとする。これまでに学んだ確率の性質を利用して，いろいろな場合の確率を意欲的に求めようとする。独立な試行の確率や反復試行の確率について，興味をもって求めようとする。条件つき確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心をもち，活用しようとする。賞金や得点などの期待を，客観的な数値で表すことに興味をもち，期待値を求め，考察しようとする。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度